

M.S. 2020年卒 地域マネジメントコース

こんな学生時代を過ごしました

実習は「北九州食スマイル実習」で、子ども食堂の支援を中心に食育活動を行いました。地創生として右も左も分かりませんでしたが、地創とはどんなものか、同期をはじめ先輩や後輩など人との関係性の築き方の基礎は、ここで学んだ気がします。イベントの企画書を作ったり、行政の方とのミーティングをしたり地創生だからこそできたことばかりでした。

ゼミは「廣川ゼミ」で、歩く観光まちづくり＝フットパスに取り組みました。フットパスを通じてありのままの地域資源の大切さや尊さ、シビックプライドの醸成の過程を肌で感じながら活動をしていました。

地域に入り込みフットパスで学んだコミュニケーション能力(傾聴力)や地域資源を活かす方法を地元の高校生に伝える出張準備も行っていました。立場の違う相手に、物事を伝える難しさやそれを工夫しクリアしていく方法を学ぶことができました。

また、3年後期からは「チャレンジプログラム」に挑戦しました。

中でも「リアル就職プログラム」を選択し受け入れ先企業にてインターンシップを半年間実施しました。私の場合は北九州空港の運営会社で週3日フルタイム勤務をしつつ、一週間の残りの半分は学生としてゼミの活動などをするという2足の草鞋のようで忙しかったですが学びが多く楽しかったです。当たり前ですが周りに学生はおらず社会人しかいない環境に身を置けたことは今の社会人生活に直接的に影響しています。チャレプロやっていたよかったですと思うことばかりです。

コロナ禍も途中にあった4年間でしたが、やりたいと思ったことは迷わず挑戦しました。そのおかげで、この4年間で出会った方との結びつきは強く今も続いています。何かを経験することは自身の心を豊かにしますが、より豊かにするのは人との出会いだと気付くこともできました。



自然に育った紫陽花と共に。フットパス中の1枚です。ありのままの生活空間を歩くからこそ分かる地域の良さや四季の移ろいを感じて過ごしました。

卒業後こんなキャリアを歩んでいます

地創卒業後は、山口県長門市にある大谷山荘という旅館で働いています。

フロントに在籍しつつ、人事採用も担当しています。

まず、フロントはお客様が来館されてから最初に関わる部署です。

一般的には旅館の顔とも言われます。

それだけに会社を印象付ける大事な部署であり、責任も感じます。

また、他部署からも問合せが多い部署でもあります。

同時にお客様からも様々な情報をお預かりするので、他部署とお客様を繋ぐ架け橋的な役割を担っています。

そのため高いコミュニケーション能力が必要です。この能力は地創生時代にしっかりと養うことができているんだと入社当初から日々実感しています。

また、人事採用では採用チームのメンバーと共に、採用面接の面接官や就活生のインターンシップ内容の構築・当日のアテンド、内定者フォローを主に行っています。外部で行われる合同企業説明会に参加することもあります。

個人的には今年、新入社員研修の担当者として、座学研修の企画・進行を行いました。

就活生の入社前から入社後までを支援し、キャリアを見守れることにやりがいを感じるようになりました。

そのことから、今後はより専門的な知識を得るために「キャリアコンサルタント」の資格取得を考えています。



フロントとして着物を着用して仕事をしています。私の最大の武器は「笑顔」です!! 社内の年末表彰で昨年「最高の笑顔賞」と受賞しました!

現役生へのメッセージ

地創での4年間は「プレ社会人」期間だと思えます。

こんなに社会人に直結する4年間はないはずですが。

経験する事柄でいうと大きなこと、小さなことはあると思いますが無駄になることは何一つありません。何事も自身の糧になります。そして、全てはご縁です。

仲間や地域の方との出会いを大切にしてください。

地創での実り多きかつ、刺激ある学びを思いっきり楽しんでください。

(2025年11月23日執筆)